

(様式1)

要望等に対する回答について

要望年月日：令和8年7月13日

要望団体名：国道281号整備促進期成同盟会

※「県政への反映区分」については、別紙のとおり。

要望項目	取組状況等	県政への 反映区分※
1 「(仮称)久慈内陸道路」の早期実現及び国道281号の機能強化	令和3年に策定した「岩手県新広域道路交通計画」では、国道281号を一般広域道路に、さらに、これに重ねる形で「(仮称)久慈内陸道路」を将来的に高規格道路としての役割が期待される構想路線に位置付けました。この計画に基づき、国道281号については、将来的な高規格道路化を見据えた規格により、トンネル等による整備を順次進めているところであり、引き続き、令和2年度に事業化した久慈市「案内～戸呂町口工区」の整備推進に努めていきます。(A) 久慈内陸道路については、路線全体の整備の考え方やおおまかなルートを検討状況、調査を優先する区間などについて、沿線の市町村と丁寧に意見交換を行ってきたところです。令和8年度は、意見交換において事業化の検討を優先する区間とした葛巻町の「小屋瀬道路」について、岩手県大規模事業評価専門委員会に事前評価結果を諮問したところであり、早期の計画実現に向けて取り組んでいきます。(B) 九蔵坂から茶屋場地区までの区間については、引き続き、沿線の市町村と丁寧に意見交換しながら、調査の熟度を高めていきます。(C) 平庭地区については、これまで、ルート検討や環境調査等を行ってきた経緯があり、長大トンネルを含む大規模な事業となることが見込まれることから、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C)	A : 1 B : 1 C : 2

要望項目	取組状況等	県政への 反映区分※
2 平常時・災害時を問わない道路ネットワーク整備等の推進	案内～戸呂町口間については、令和2年度に「案内～戸呂町口工区」として事業化し、令和8年度はトンネルの掘削工事を進めていきます。今後も、地域の御協力をいただきながら、整備推進に努めていきます。 (A) 戸呂町口～久慈間については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C) 荒町地区の電線地中化については、令和7年度に工事に着手したところであり、引き続き、整備を推進していきます。(A) 滝沢市～岩手町間については、県では、内陸部における物流の円滑化や地域間の交流・連携を促進し、快適・安全な生活を支える道路として、国道4号の整備の重要性を認識しています。このため、令和9年度政府予算等に係る提言・要望において、滝沢市～岩手町間を含む国道4号の4車線化について国に要望したところです。今後も、様々な機会を捉えて国に働きかけていきます。(B)	A : 2 B : 1 C : 1
3 地域の人々の命と暮らしを守る施策の推進	歩道整備については、県内各地から多くの要望があることから、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。こうした中、生出町地区については、本年度、用地補償および工事を進めており、早期整備に向けて取り組んでいきます。(A) その他要望の箇所については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C : 3) 町中心部の流雪溝は、日常の道路パトロールや現地調査の結果を踏まえ、平成30年度から緊急性の高い箇所を優先して劣化箇所の修繕工事を実施しており、令和8年度においても、継続して実施する予定としています。こうした中、要望箇所についての早期の抜本的な改修整備は難しい状況ですが、公共事業予算の動向等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C) 城内小路地区の改良整備については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら、総合的に判断していきます。(C)	A : 1 C : 5

要望項目	取組状況等	県政への 反映区分※
4 国土強靱化実現に向けた防災・減災対策	令和6年能登半島地震や令和7年1月に発生した埼玉県八潮市の道路陥没事故などの教訓を踏まえつつ、激甚化・頻発化する自然災害から県民の生命や財産を守るためには、道路をはじめとする社会資本の整備や適切な維持管理を推進していく必要があります。 このため、県では、令和9年度政府予算等に関する提言・要望において、「第1次国土強靱化実施中期計画」に基づく予算など、補正予算で措置されている公共事業予算について、当初予算において、通常予算とは別枠で必要な予算・財源を確保し、その取組を加速化・深化するよう要望したところです。(B) 国道45号へ接続する一般国道281号の久慈市街地のバイパスについては、早期の事業化は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきます。(C) 令和6年能登半島地震への対応をはじめ、国土交通省のTEC-FORCE が被災地の復旧・復興に大きな貢献をしていることから、このような激甚な自然災害への備えとして、地方整備局等の体制を充実・強化するとともに、災害対応に必要な資機材を確保するよう要望したところです。(B) 今後も、公共事業予算の安定的・持続的な確保や、地方整備局等の体制の充実・強化等が図られるよう、様々な機会を捉えて国に働きかけていきます。	B : 2 C : 1
5 必要かつ十分な予算・財源の安定的・持続的な確保	近年、国の当初予における公共事業関係費は、6兆円程度で推移しており、令和8年度は、令和7年度補正予算と合わせ、8.6兆円の規模となっています。 これらも踏まえ、県では、令和9年度政府予算等に関する提言・要望において、国土強靱化や地方創生を推進するため、国の公共事業関係費の総額について、中東情勢の緊迫化の影響も踏まえ、今後の物価高や賃金水準の上昇等を適切に反映した上で、安定的・持続的に確保するとともに、本県における直轄事業をはじめ、社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金等の公共事業に係る予算を確保するよう要望したところです。 今度も、公共事業予算の安定的・持続的な確保を図るため、様々な機会を捉えて国に働きかけていきます。	B

「県政への反映区分」について

反映区分	記号	内 容
提言等の趣旨に沿って措置したもの	A	(1) 質問・照会等の内容であり、その趣旨を満たしたもの (2) 意見提言の趣旨に沿い、現行制度等で措置し、提言等の趣旨を満たしたもの (3) 市町村、団体等との連絡・調整等を要し、調整等により提言の趣旨を満たしたもの (4) 当該年度中に事業が完了し、提言等の趣旨を満たすもの (5) 当該年度中に完了しないが、事業に着手（当該年度中に着手予定を含む）し、事業完了時に提言の趣旨を満たすもの (6) その他、上記に類するもの ※この区分は、「措置済」、「完了」の区分とする。
実現に向けて努力しているもの	B	(1) 実現に向けて努力しているが、現段階で提言の趣旨を満たしていないもの (例)・制度・条例等の新設・改正等を要するもの ・予算措置（県単・国庫補助等）を要するもの ・市町村、団体等との連絡・調整等を要するもの (2) 国等の事務事業に係るもので、実現に向けて、県として要望・提案を行うなどしているもの (3) その他、上記に類するもの
当面は実現できないもの	C	(1) 現時点では、実現することが難しいもの (2) 優先順位等を見極めながら、状況に応じて判断するため、現時点では見通しが立たないもの (3) その他、上記に類するもの
実現が極めて困難なもの	D	(1) 県の行政には馴染まないもの (2) 実現が極めて困難なもの (3) その他、上記に類するもの
その他	S	反映区分の選択になじまないもの
	T	県民等からのお礼、感謝の類